



堀場製作所OB会

会報

通巻39号

発行日 平成28年1月31日

発行者 堀場製作所OB会

酒井 俊英

編集者 伊藤 哲

◆2015年第20期年次総会より

- ・会社近況報告 堀場 厚社長
- ・年次総会
- ・懇親会

◆定例幹事会・定例会

- ・第20期第1回幹事会
- ・JASIS見学と会社幹部との懇談会

◆HOVC活動 キャリア部会

- ・工房学習活動

◆HOVC活動 ボランティア部会

- ・鴨川納涼2015に参加して
- ・鴨川クリーンハイクに参加して

◆クラブ活動報告

- ・釣りクラブ
- ・山遊会
- ・ボウリングクラブ
- ・東京ゴルフクラブ

◆OB会行事報告

- ・秋の懇親会……………京都
- ・レジャー例会……………神戸市博物館

◆特別寄稿文

- ・最高顧問の社会貢献理念とボランティア活動 …………… 石黒 英憲
- ・堀場OB会と鴨川クリーンハイク参加で思うこと …………… 秋山 重之

◆会員寄稿文

- ・京都の知っているつもり……………海野興一郎
- ・客船ダイヤモンド・プリンセス号クルーズ紀行……………塚本 時弘
- ・千葉県白石市での環境活動事例紹介……………辻川 毅

◆OB会だより

- ・堀場OB会ホームページ紹介
- ・新入会員紹介
- ・年間行事計画について
- ・会報、ホームページへの寄稿について
- ・OB会入会手続きについて

◆下半期会社ニュース ピックアップ

◆編集後記

石清水八幡宮の「麒麟」



「麒麟」

「やわたのはちまんさん」で知られる石清水八幡宮は、桂川・宇治川・木津川の三川合流地点にある男山に鎮座し京都の裏鬼門を守護しています。貞観元（859）年に創建、現存する国内最古で最大の八幡造本殿を有し国宝指定されました。厄除け、必勝の神社としても親しまれており、本殿東の楼門を守る聖獣「麒麟」も大変素晴らしいものです。国宝指定の御本殿は、もちろん、守護する聖獣や、一ノ鳥居の扁額、信長塀、楠木正成公の楠、エジソン記念碑など見所が一杯です。（中村 十規人 記）

第20期年次総会より

会社近況報告

堀場 厚 社長

最初に、今紹介していただいた2015年11月21日土曜日夜に出演した、NHK BS1の生放送についてエピソードを紹介したい。夜10時からの放送だったが、7時集合でキャスターの方達が打合せしているところから見ていた。嵐山の背景もきれいだったが、非常に寒く膝にかけるブランケットや懐炉などを用意していただいた。京大山中教授のキャッチフレーズ「ビジョン&ハードワーク」のスピリットについてコメントを聞きますと、予め依頼されていたが、長時間の正座のため足が痺れ庭に出る際に転倒しそうになった。平然を装っていたが、瞬間コメントを忘れてしまった。そこは冷静に「現場が大事…」とコメントすることができた。生放送の出演にあたり、周りから「いらぬことは言わないように」などアドバイスがあった。京都特集の取材ということで、「ほんまもんを大事にする」など本をよく読んで理解していただいていた。京都の経営者は仕事だけではなく、本当のことを大切に考え、スピリット、価値観を大事にしていることが伝えられたと思っている。

次に、フランス パリのテロ事件前の10月に、フランス首相一行がHORに訪問されたことを紹介したい。一行には、シュバイツァー前ルノー会長が同行され、今回の民間企業訪問はHOR1社だけで、HORがいかに注目されていたかがわかり、たいへんに有意義な機会となった。グローバル化を進めていく中では、テロや移動時など様々なリスクを想定し対応していかなければならない。過去に飛行機の遅れにより日本での重要な会議に出席できないこともあった。

20年ほど前からのABX社、ジョバンイボン社について、ドイツのシェンク社、今年英国マイラ社を買取してきた。各社は当初数年間の赤字続き、また、のれんの償却代もかかり、買取すればすぐ成果がでるわけではなかった。しかし現在の業績に見られるように海外オペレーションの基礎となってきたことは確かである。フランス首相の経営に関する質問に対して、「付加価値のある高く売れる製品を供給していき、ブランド力を大切にしている」と回答した。現在は「売れている」状況だが、OBの方々の時代は「売っていく」ご苦労があったのことと思っている。故最高顧問は「いいものを作れば売れる」と言われていたが、時代やユーザが変わり、マーケット自体が変化してい

る。アピールしなければ、価格だけで失注することもある。変化に対応できるように会社の体質も変え、総合力で、グローバル化を推進している。



課題は「人財育成」にかかっている。

マーケットでの競争には、売上の10%を開発費にかけ他社に打勝つことが必要と考えている。開発費はすなわち人件費だが、日本の会社の成長の仕方と海外とは違っている。日本の会社は新卒採用型で最初の5年は投資に近く、5年たつと給料に見合い、10年経つと稼ぎ出せるようになってくる。

「瓦」はきれいにならんで、屋根の役割をはたしているが、1枚ぬけると雨漏りがしてくる。「瓦」のようにきれいに並べるように人財をそろえることが日本の企業には必要となっている。海外は労働力が流動的で採用システム自体が違う。

サッカー選手の例にあるように評価がすべてで、上を目指してより良いチームに入っていく。イエスマンばかりでなく、個を主張する尖った「人財」が大切になっている。人事部門には10%程度は尖った人財を採用するようにはっぱをかけている。海外では人財はどどんいいチームの方へ行く。事業として成功すれば、加速がついていく。シリコンバレーで急成長したり、グーグルのように急拡大していく会社には求心力がある。欧米の優秀な人財はそのように集まってくる。

話は変わって、今年モンペリエ大学で博士号を授与していただいた。授与式では学長、副学長、教授の方々が列席され、非常に荘厳なものであった。お礼の言葉を用意していたが、2名の副学長の名前を事前にインプットしていなかったことで少々とまどってしまった。しかし、海外ではあわてず、堂々と振舞うことで自然に空気が流れていくように思う。今回の学位の授与は他ではあまりやらない、フランスから日本語を勉強しているインターンシップ生を毎年5,6名受け入れている交流も信頼を増し、貢献しているように思う。

2015年12月年度末に向けて、E-HARBOR移転作業の中で最高の生産をし、前年以上の売上・利益を達成していく見込みである。堀場エステックも半導体市場で好調に推移している。マスフローコントローラーはMEXAについて重要な製品となっている。開発投資に注力し、安定的に供給、サービスを提供することでユーザから高い信頼を得ている。故最高顧問が作られた洛楽会も代替わりしているが、生産の期末集中のサポートや移転に対す

るする協調もしていただいております、信頼関係を深めている。

OB会のメンバーは、それぞれの立場で故最高顧問のスピリットの真意に基づいてHORファン作りや京都などの地元に対しての恩返しに貢献していただきたい。

(2015年11月24日 於HOR講堂 抄録)

第20期総会

2015年第20期総会は11月24日(火)に開催されました。今回は2015年7月14日(火)に逝去された元最高顧問・堀場雅夫殿の「お別れの会」が9月9日に行われたり、OB会のスケジュールもいろいろ変更を加えながらのスケジュールとなり、堀場厚社長のスケジュールとの調整の結果でありました。

第19期中には、堀場雅夫殿を始めとして前代表幹事の川越 幹様、望月宣治様、南村義昭様、西田敏彦様の5名の方が亡くなりました。この5名の冥福をお祈りする黙祷をして総会は始まりました。9月9日のお別れの会に会場で放映されていましたビデオを映し、創業者の偉業を偲ぶ場となりました。その後、総会は始まり、第19期の活動報告、会計報告、クラブ活動等を行なって、会計監査役の湯浅一郎氏から監査結果の報告がされ、総会での御承認を頂くことができました。続いて第20期の活動計画・会計予算案が提示され、これらも総会での御承認を頂きました。

第19期及び第20期に入会された新会員9名が紹介され、更に古稀になられた10名が紹介され、代表して倉原政治さんがお祝金を受取られました。

この後、休息の後、代表取締役社長 堀場 厚殿からの「会社の近況」と題して御講演を頂きました。

御講演の後、恒例の全員の集合写真を撮って、懇親会に移りました。懇親会は、久しぶりに参加された方も多く、社長を始め、多くの会社幹部の方々にも参加いただき、昔話や、現在の話題に話が盛り上がり、大盛況の中、恒例の船越副代表と石田副会長の手打ちで中締めとなりました。お疲れ様でした。



第20期年次総会・懇親会から

第20期 年次総会概要

第20期 総会年次総会概要

1. 第19期 活動報告

①ボランティア活動の枠を広げる

- ・京都マラソン・ボランティア活動への参加
- ・桂川クリーン大作戦への参加

②生き方探求館でのモノ作り教室での内容向上

- ・環境教育の為に2点表示温度計への質の向上
- ・CCOが主体となり、サポートを行なった。
- ・京モノレンジャーでの京都市教育長からの表彰（萩原氏、三橋氏）



③定例行事

- ・春の一泊研修旅行…那智勝浦
- ・春の懇親会 …がんこ二条

④費用支出の継続的見直しと活動に対する支援強化

⑤各行事に対する参加会員数の増加

- ・行事の案内方法の方式を整備し、返信はがきによる間違いのない手法

⑥クラブ活動の積極的拡大・活性化

- ・ボウリング同好会、囲碁クラブ、ゴルフクラブの設立とサポート
- ・一方、カメラクラブ、グランドゴルフは活動が無かった。

⑦東京支部活動

- ・定例会3回、幹部懇談会の開催
- ・研修一泊旅行 …山梨県石和温泉、山梨県立ミレー美術館等
- ・ゴルフコンペ …3回開催

2. 決算報告

- ・収入 実績対予算比 +3%
- ・支出 実績対予算比 -18%

3. 会計監査からの報告と総会の承認

湯浅 一郎氏から問題ないことが報告され、拍手で承認された。

4. 第20期 活動計画

①幹事の再任の件

会則によれば任期は2年であり、現幹事は再任となる。

②活動計画案

- ・運営方針 …キャリアを活かして社会貢献を強化（継続）

◇定例行事の継続

懇親会、教養レジャー例会、一泊研修旅行

◇キャリア&ボランティア活動（HOVC部会）

- 祇園祭りごみゼロ作戦への参加
- 生き方探求館での京モノレンジャー活動
- 京都マラソン・ボランティア活動
- 桂川クリーン大作戦
- 鴨川を美しくする会
- 鴨川茶店、鴨川納涼、鴨川クリーンハイク

③会則改正

◇改正趣旨：事業年度の締切日を20日から末日とする。

- ・改正前 事業年度を9月21日から翌年9月20日とする。

- ・改正後 事業年度を10月1日から翌年9月30日とする。

付則：年度を9月末までにすることで、2015年9月21日から始まる事業年度は2016年9月30日までとする。



④クラブ活動補助金の支給基準改正

- ・補助金の申請時期：代表者は毎期9月30日までに申請
- ・補助金の予算決定：総会にて予算承認後、決定する。
- ・補助金の支給：上記決定後、代表者に支給される。
- ・補助金の精算：代表者は当該期の活動費用の領収書を纏め収支報告を翌期の予算申請と同時に提出し精算の処理を行うこと。



5. 第20期 予算計画（詳細は省く）

- ・収入今期予算／前期実績（+10%）
- ・支出今期予算／前期実績（+34%）



6. 幹事体制

代表幹事	酒井 俊英
副代表幹事	船越 健
幹事	伊藤 哲（会計）
	谷口 義晴（東京支部）
	中村 十規人
	中村 正博
	森山 晶成
	三橋 泰夫
新任幹事	小川 柁幸
会計監査	湯浅 一郎
	中井 眞啓（堀場製作所）
退任	笠川 重美

9. 古稀の方：森本 順孝、細川 好則、柳田 祥男、大浦 俊彦、杉本 実、倉原 政治、龍 重法、川戸 健一、八木 大三、土肥 守（敬称略）

7. 以上、活動計画、予算計画は承認を受けた。

8. 新入会員：第19期 衣斐 寛之、佐々木 一訓、吉良 昭道、田嶋 寛、調子 均、北川 光夫、大川 浩美、高田 守
第20期 鵜崎 一誠（敬称略）



定例幹事会

第20期第1回幹事会

開催日時：2015年10月23日（金）14:30～15:30
議題

★来期予算計画案

クラブ活動予算を昨年より増額し、140,000円とすることが了承された。

★第20回総会関係

1. スケジュール確認

総会の案内状の発送が13日から20日に。

2. 総会式次第（案）

3. 総会にむけての準備・役割分担

★設立20周年記念事業について

プロジェクト設置

★品質ヒストリー進捗状況

OB会員の数名に依頼され、順調に進んでいる。謝礼の件については、未決状態。

★HPの大改修

以下の条件で、改修することが了解され、総

会での予算承認の上、実施を予定する。
20周年事業の一環としてFaceBookスタイルにはしない。

★今後の行事計画

12月のレジャー例会

神戸市立博物館での大英博物館展・近くの神戸メリケンホテルで昼食を取るコース

★決算時期の変更（9/20から9/30へ）

次期会計幹事の伊藤氏より提案。会計監査時にも打診をして、了解はされている。総会に諮って決定する見込み。

★HORIBA Blueberry Farm参加依頼の件

来年の夏に、HOCOMが進めているHORIBA-ファームの活動に参加する。これについて総会でも、会員に勧めるものとする。

★OB会のクラブ活動で、芸術領域のクラブが少なく、一般によく有る、絵画系のクラブの発足を呼びかけることが望まれる。総会で、呼びかけようということになった。以上

JASIS見学と会社幹部との懇談会

東京支部では毎年秋に千葉県幕張メッセで開催されるJASIS2015（日本分析機器展示会）に合わせて、堀場代表取締役会長兼社長はじめ幹部の方々と親しく懇談会を開催（今回で7回目）しており、今年は2015年9月3日（木）にJASIS2015展示会を見学後、堀場会長・社長、幹部の方々とホテルザ・マンハッタンで開催しましたので報告します。

◇展示会報告

JASIS2015展示会は日本分析機器工業会及び日本科学機器協会が合同で開催するもので、研究、分析、試験等に係る総合展示会で国内外の約480社が参加しカンファレンス、新技術セミナー、最新機器の展示がなされ、アジア地区では最大規模の展示会で期間中に数万人の方が訪れています。

その中における堀場製作所グループは、One Companyの企業理念に沿ったお客様目線の分野別の展示が目を引きつけていました。当日の説明役の半田様の適切なる会社・製品説明は、他社ブースに比して解りやすく見学することが出来、OB会員も感心しておりました。

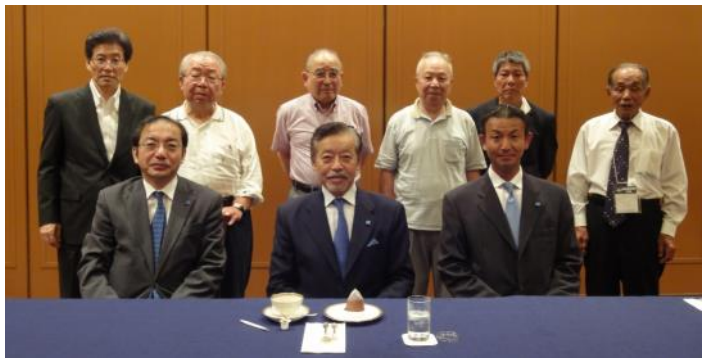
◇懇談会報告

展示会見学後ホテルザ・マンハッタンに移動して堀場会長・社長、佐藤常務、山下執行役員に出席を頂き15:00から懇談会を開催しました。最初に7月14日に逝去されました堀場最高顧問の遺影に向かい黙祷・追悼を行い、堀場会

長・社長から追悼の話をお聞きし、その中で今年の英国MIRA社の事業買収にける喜びの話は感激するものでした、続いて出席OB会員から個々の思い出話を披露していただきました、特に堀場最高顧問自らの手料理のご馳走話等を懐かしく感じました。

終わりに堀場会長・社長より会社の現況の報告を頂きました、近年推進してきた事業戦略（グローバル化、社員の意識改革、ユーザー指向等）の開花による、業績高揚と2015年度は過去最高の実績が見込めること、特にMIRA社の堀場グループへの加入は今後の大きな柱となる可能性を秘めていることなどお聞きし、OB会員一同大きな力強さを感じ散会とした。（辻川 毅 記）

出席者堀場社長、佐藤常務、山下執行役員、
草鹿悌二、辻川 毅、土屋富夫、
玉置健三、谷口義晴、新井章生



HOVC活動 キャリア部会

工房学習活動

平成27年度工房学習のスタートと工房学習風景

平成27年度より工房学習の体制が堀場製作所0B会より堀場製作所CC0の木村友紀さんに変更しました。温度計キットは堀場製作所（開発）、生産技術、生産2部の協力で10月初旬にキット部品が完成しました。

温度計プログラムの活動については、堀場製作所及びHOVCからの指示により生き方探求館の企画担当の中山様より日程調整が入り下記流れになります。今後は「探求館から日程調査→御支援日決定→探求館からご支援日後お知らせ」という流れになり堀場製作所0B会のモノレンジャーの活動が決まります。

平成27年度10月14日（水）唐橋小学校 4年 74名
 A 班 9時10分～10時10分
 班編成 4名×8班+5名×1班 37名
 B 班 10時20分～11時20分
 班編成 4名×8班+5名×1班 37名

（森山 晶成 記）



工房学習活動レポート

10月14日（水）久しぶりにHOVC工房学習のサポートに参加しました。生き方探究館の「世界に一つの温度計」工房プログラムです。唐橋小学校4年生74名2学級でした。作業説明は、堀場製作所 CC0新人 野田みゆきさん 木村友紀さんでした。以前のおじさんより若い女性の方が、聞きやすいと感じましたが、実際の作業の経験の無さが気になりました。作業の手助けをするモノレンジャーは堀場製作所0B会から池田 俊明さん、村瀬 潤さん、森山晶成さんと小生の4名と他社のモノレンジャーの方計4名（GS・OBVC（GS・OBベンチャークラブ1名）、CNKC（キャリアネットワーク京都クラブ）2名、KSVC（京都市シルバーベンチャークラブ）1名）に助けられました。他社の方とご一緒するのは初めてでしたが、割合スムーズに作業が進みました。

（島田 剛志 記）



☆ キャリア部会の工房学習実績と予定(7回)

日付	午前 午後	小学校	学年	人数	HOVCキャリア部会員
2015/10/14	午前	唐橋小	4年	76名	池田さん、森山さん、島田さん
2015/11/13	午前	待鳳小	4年	56名	石黒さん、池田さん、森山さん、村瀬さん
2015/11/25	午前	山ノ内小	4年	74名	池田さん、森山さん
2015/11/25	午後	小野小	4年	74名	秋山さん、池田さん、森山さん、島田さん
2015/11/27	午後	桃山小	4年	74名	池田さん、森山さん、島田さん
2015/12/1	午前	京極小	4年	18名	石黒さん、池田さん、森山さん、村瀬さん
2016/2/5	午前	藤城小	5年	77名	石黒さん、秋山さん、池田さん、森山さん

鴨川納涼2015に参加して

平成27年8月1日(土)と2日(日)の両日にわたり『鴨川納涼2015』が開催されました。三条から四条間の鴨川右岸、時間帯は(土) 17:00~22:00、(日) 17:00~21:30で、今や第46回目を数える京の恒例の風物詩となっています。

特設ステージにおけるイベントや河川美化・伝統産業等の啓発、観光PR、全国物産即売、河川美化などで様々なブースが設置されていました。恒例の友禅流しの実演も行われましたし、京都府の山田知事や京都市の門川市長も挨拶で来場されて



いました。役割は、会場の安全管理をサポートで1日(土)は、森山と中村(十)が参加し、2日(日)は、酒井と中村(正)が参加しました。両日とも気温、

湿度とも高く、うだるような猛暑日でした。私は、今回初めて参加しましたが、お客さんも多く、老若男女が、多くの外人さんが来場されていました。



鴨川納涼の来場者総数は、二日間で2万人を超えたと思います。人気のあるブースは京都の各県人会が行うドリンクや郷土の食べ物を販売しているブースで美味しそうな匂いがたち込み、客を集めていました。厳しい暑さのせいかかき氷を販売しているブースが一番人気で長い列ができていました。来年は、一般の参加者として参加したいものです。

(中村 十規人 記)

鴨川クリーンハイクに参加して①

2015年9月6日(日)は、当初、萩原さん、笠川さん、酒井の3人の予定でしたが、「鴨川を美しくする会」から、急に増員するよう指令が出て、急遽、秋山さん、森山さん、池田さんにも協力をお願いして参加頂きました。最近、京都府の河川課や、京都府警からも参加されていたり、町ぐるみで参加されていたりして、前回同様大勢のボランティアが集まる様になりました。この日は、あいにくの秋山前線?でなくて秋雨前線が停滞して、始まる前から小雨が降りはじめていました。写真にも有るようにオム



ロン(OB会)である、XOクラスターと同じに、東側の左岸の川沿い道路を担当します。写真に写っていない約1名が、集合時間を間違えていたハプニングが有りましたが、10時少し前に、会長の挨拶が始まり、皆さんの早く始めたい気持ち

がひしひしと感じられました。少しずつ雨脚が強くなる中、作業が始まりました。丸太町から、目指すは北大路橋です。こんなに雨が降る中のクリーンハイクは、私は初めてです。雨の中にしては、距離が長い事(正味3.3Km)にクレームをいう人がいたりして、この悪天候がやはり、問題を生じていたようです。(通常の五条大橋から丸太町橋は2.6Km)

我々、堀場OB会にもハプニングが起きました。約1名が、出町柳の橋を通り過ぎて、高野橋まで、行ってしまい、迷子になったのです。携帯電話で連絡を取り合いながら、何とか雨の中、タク

シーで、北大路橋西側(右岸)に到着した時は、ホッとしました。その頃は本格的な雨となっていました。ほんとに、皆さん、お疲れ様でした。

これに懲りずに、次回も頑張りましょう。

(酒井 俊英 記)

HOVC活動 ボランティア部会

鴨川クリーンハイクに参加して②

平成27年11月1日、今年最後の「鴨川定例クリーンハイク」に、森山さん、三橋さんと秋山が参加しました。当日は、早朝の北大路橋西南詰め河川敷前に立つと、すでに河川敷の芝は黄色に染まり、澄んだ秋空の下川面の反射光がまぶしく、爽やかな朝風に吹かれると、なぜかゴルフのティーグラウンド立った時のような緊張感を覚えました。すでに森山さんが3人分の“3つ道具”を準備して手を振ってくれました。まもなく近くに住む三橋さんがいつものニコニコ顔でチャリンコに乗ってやって来ました。

10時には杉江事務局長他関係者からのご挨拶と本日の行動計画及び注意事項の説明を受けた後、約170名が三々五々北山大橋に向け出発しました。本日のコースは、この北山大橋までの兩岸河川敷を清掃しながら全員が往復することになります。遊歩道や河川敷は非常にきれいになりましたが、1段川岸に下りると上流由来の漂流物と思われる流木、小枝、タイヤ及びプラスチック破片などが散見されました。北山大橋東詰めには中間点のごみ回収用の軽トラックが待機しており、また川中はアクアダイブチーム3グループ10数名の参加者がいました。岸边近くにいたメンバーの一人に“川中はどうですか”と聞くと“ずいぶんきれいです”という返事でした。



このクリーンハイクは結成以来50年間続いており、本日のように立体作戦を考えるなど安全や効率面での体制が充実してきた感じがしました。左岸への折り返し地点から上流の眺めは、兩岸の桜並木の紅葉、深い青色の川面及び遠くに洛北の山々が秋空のキャンバスに描かれたようでとても印象的で、これまでの疲れがいつべんに吹っ飛んだような気がしました。写真は、ごみ回収を終え出発地点に帰ってきた時の3名です。

おわりに、冒頭に関係者（古村会長、府交通河川課太田部長）から、この直後に鴨川ギャラリー御池大橋（設置5カ所目）の除幕式が実施されるというニュース情報があったことを付記します。

（秋山 重之 記）

クラブ活動報告

釣りクラブ報告

平成28年9月21日（月）鯛・鯰・イカ釣りをメインに舞鶴冠島に行ってきました。参加者は、山岸、調子、下川、丸山、中村の5名の参加となりました。当初池田さんも参加予定でしたが時間を間違っておられ残念ながら不参加となりました。遊漁船は、西舞鶴で何回か使っています「いおり」です。シルバー連休の真中で、天候は、晴れ、北の風、釣りには適した条件でした。朝8時30分に小生宅（桂坂）を出発、縦貫道が完成しましたので、1時間ほどで目的地に着きました。釣り具やで、餌（オキアミ）を購入、11時に出船しました。波は、予報通り1mぐらいで穏やかな海上でした。釣果は各人、鯛、アジ、甘タイ、他皆さんそれぞれ釣れました。



海上は、さわやかで楽しい釣行になりました。20時に納竿、帰りにラーメンを食べ23時には、自宅に戻りました。次回また皆さんに連絡しますので是非参加してみてください。

（中村 正博 記）

クラブ活動報告

山遊会報告

- ・実施日：平成27年10月31日（土） 快晴
- ・山行先：岩湧山（897.7m）
- ・参加者：下川 和子、下川 博司、
橋口 純男、宇野 久二男

秋はお互いに行事が多く、山行を1週間延期し10月31日としたが、参加者は4名に止まった。午前7時阪急河原町駅に集合、7時11分発快速急行梅田行きに乗り、淡路で地下鉄に乗り越え天下茶屋へ。一旦改札を出て8時29分発南海高野線橋本行きに乗り換え河内長野駅で下車。南海バス滝畑ダム行き乗場にはすでに長蛇の列。9時4分発のバス1台にはとても乗り切れず増車を待つ。20分ほどして2台配車され、滝畑ダム直行となり、結局ほぼ定刻の9時54分に到着した。川沿いの道を少し歩き、登山口で準備を整え、10時10分出発。このルートは金剛山から槇尾山へと続くダイヤモンドトレールの1部であり、よく整備されている。11時過ぎ高圧線が見えたところで小休止、水分補給をして高圧線沿いの道を登り、11時



30分鉄塔に出た。ここからは長い稜線となり、一面ススキ（カヤ）の原が続いている。

今秋は晴の日が続き、今日も穏やかな晴天に恵まれ、ススキの穂が銀色に輝く。思い思いに写真を撮りながら12時5分山頂到着。広い山頂もすでに大勢の登山客が休んでおり、恒例の記念撮影を終え、昼食場所を探しながら少し下山。12時50分出発し東峰から岩湧寺へ向かう「きゅうぎかの道」を下る。13時35分岩湧寺到着、樹齢数百年の杉の巨木に囲まれた多宝塔がある。一帯は岩湧の森で、滝見の遊歩道を下り車道に合流する。車道の両側にはシュウカイドウの群生が延々と続く。14時5分行司河原分岐を過ぎ、14時57分神納バス停に着くがバス便がなく、10分ほど先の南青葉台口バス停まで歩く。15時19分発のバスで河内長野駅に戻る。15時56分発の快速急行に乗り、朝と反対の

経路をたどり17時30分頃阪急烏丸駅に着き解散した。

（下川 博司 記）

- ・実施日：平成27年11月28日（土） 晴
- ・山行先：天狗杉（837.2m）・鞍馬尾根
- ・参加者：下川 和子、高橋 義治、丸山 博、
下川 博司、橋口 純男

午前7時30分、京都バス出町柳駅に集合し7時50分発広河原行きに乗り。8時53分花背峠下車、標高はすでに760m、数日前から冷え込みが強くなり、早々に準備を整え9時10分スタート。天狗杉まで20分、汗をかく間もなく到着。先ずは恒例の記念撮影を済ませ下山、9時50分旧花背峠に出た。林道を下り、途中から山道となりならかな鞍馬尾根へと続く。落ち葉を踏み分け幾度かアップダウンして開けたピークで小休止、の積りであったが抜けるような青空、風もなく穏やかな日差し、比良山系を遠景に幾重にも広がる黄色く色づいた山並みを



眼前にして、早めの昼食とする。山歩きでの至福のひと時を十分に味わい12時再スタート。ほとんど人の入った形跡がなく、倒木や落ち葉で道が分かりにくく、前方を注視して進む。13時経塚を通り

13時30分鞍馬寺本堂に到着。紅葉を求めて大勢の参拝者が訪れているが、今年は紅葉が早かったのと朝夕の寒暖差が少ないことで、色付きが悪く枯れ葉が目立つ。本堂の前で2枚目の記念撮影をして山門へと下る。ケーブルカーの改修工事中で、お年寄りをはじめみな本堂まで登らねばならず大変だ。鞍馬駅から叡電に乗り、15時丁度に出町柳駅で散会となった。

（下川 博司 記）

ボウリングクラブ

堀場ボウリングクラブ12月例会成績



発足以来最大の10名が参加されました。永田真寿夫さんが貫禄のベスグロ優勝（3回目）でした。今回の初参加は元製造のパート社員峯田真弓さんです。源田富美雄さん、高橋義治さんは元気に2回目の出場です。終了後皆で祇園鳥しげの水炊きを楽しみました。

写真は全員集合写真と84歳源田富美男さんの華麗なフォーム、田中光子さんのストライク後の祝福シーンです。（毛利 隆文 記）



上位の成績

12月	1G	2G	3G	計	HD×3	ネット	順位
永田真寿夫	190	156	184	530	60	590	優勝
毛利隆文	189	168	151	508	36	544	2位
田中光子	98	136	132	366	177	543	3位

東京ゴルフクラブ

20期第1回東京ゴルフクラブコンペ開催

東京ゴルフクラブは2015年10月9日（金）にゴルフコンペを栃木県の鷹ゴルフクラブで開催しました。台風23号の強風も過ぎた晴天の中、3連休前の為か空いているのんびりとゴルフを楽しみました。横井、谷口のメンバーコースで、横井さんの誕生月でビジターもメンバー費用でプレーできました。2人乗りカートを借り、コース内を自由に走行でき、ボール探しもクラブ選択も楽にできて、1か月前の関東豪雨の傷跡で青いシートの残る一部工事中のコースを横目にスムーズに進行できました。競技は新ペリア（上限トリプル）方式でNETスコアとNP、DCにも競いあいました。優勝は横井

さんでグロス100（HC24）でした。プレー終了後ロビーで表彰式と賞品の授与を行いました。

参加者 草鹿悌二、谷口義晴、横井広秋、古田秀幸（谷口 義晴 記）



OB会行事報告

秋の懇親会

秋の懇親会が2015年10月3日（土）、盛大に開催されました。本来、夏の懇親会として8月末に行われる予定でしたが、故堀場雅夫・最高顧問が亡くなられて、弔意を示したいということで「お別れの会」が終ってから開催となりました。

今回は、趣向を変えて、京都駅近くの京湯元・ハトヤ・瑞鳳閣で行いました。創業は1950年ですが、2014年5月に自然温泉の露天風呂を備えたホテルとしてリニューアルされたもので、京都駅より5分の至便な所にあり、設備が新しくとてもいい雰囲気です。



今回の参加者は総勢38名と多くの方々にお集まり頂きました。18時から、故堀場雅夫最高顧問を始め、前回の懇親会からの間でお亡くなりになられた方々を忍んで黙祷を捧げた後、代表幹事の挨拶、東京支部から参加された辻川さんの音頭で、乾杯をして、宴は始まりました。少し遅れて参加された山下執行役総務部長から、恒例の堀場製作所のトピックスをご報告いただき、堀場製作所の益々の興隆に感銘しました。

また、今回、新入会員の佐々木一訓さん、調子均さん、北川光夫さん、高田 守さんの4名の方が参加され、夫々ご挨拶を頂きました。

いつものように宴は盛り上がり、旧交を温める事ができ、お互いの健康を讃え合って今後の更なる健勝を誓って終わりました。参加頂きました皆様、有難うございました。（酒井 俊英 記）



OB会レジャー例会 神戸市博物館

例年秋のレジャー例会は11月に行われるところですが、今年は総会の後の12月となりました。去る2015年12月4日に、OB会有志18名は神戸市立博物館で行われている「大英博物館展」を見学しました。かの英国ロンドンに有る「大英博物館」は1753年に8万点の収集品から始まり、今や約700万点の膨大なコレクションを誇る人類の文化遺産の殿堂です。その中から8つの全所蔵部門から選定された100点で、様々な時代と地域のモノで人類200万年の「歴史の断片」を語ろうとするものです。

8つの所蔵部門とは

- ①創造の芽生え（200万年前～2500年BC）
- ②都市の誕生（3000年BC～700年BC）
- ③古代帝国の出現（700年BC～AD100年）
- ④儀式と信仰（AD1～AD800年）
- ⑤広がる世界（AD300年～AD1100年）
- ⑥技術と芸術の革新（AD900年～AD1550年）
- ⑦大航海時代と新たな出会い（AD1500年～AD1800年）
- ⑧工業化と大量生産が変えた世界（AD1800年以降）です。

映画「ハリー・ポッター」有名な英国・ルイス島のチェス駒や、アフリカのリアルな女性像、古代エジプトの棺などが展示されていました。最後の出口では私たちが後世に残す100点は何かと問うたアンケートが置かれていましたが、100点に搾るのは大変難しいことを実感させられました。

これら貴重な人類の文化的遺産をじっくり鑑賞した後、近くにあるオリエンタルホテルの最上階でイタリアンのランチを賞味して目もお腹も満腹した貴重な一日でした。（酒井 俊英 記）



堀場製作所を退職して早や3年余りが過ぎました。

退職後のセカンドライフは、ボランティア活動をする心には決めておりましたが、実際に何をするかを決めていたわけではありません。

5年前にこの会報誌でご紹介したことのある、「小学校への出前授業」そしてボランティアを行うための資格取得など、退職前から準備はしておりましたが、……。なかなかボランティア事業があるわけではありません。

そんな折に、堀場雅夫最高顧問のお蔭で、KSVUのボランティア活動に参加することができました。

1つ目は、最高顧問が名誉館長をされていた「京まなびの街 生き方探究館」で京モノレンジャーとして活動することです。小学生にモノづくり工房の授業のお手伝いやモノづくりの殿堂で企業やその創業者などの紹介をさせて戴いております。

2つ目は、すでに終了してしまいましたが、「知のシーズ集の作成」です。各大学の特許や研究成果を企業に分かり易く紹介するための資料作りでした。各大学の先生を訪問し、特許や研究発表論文を調べ、その研究について詳しく教えて戴き、企業の方々が使いやすいように資料を作りまし

た。KSVUでそれらを集め、シーズ集を作成してHPなどで広報されました。

3つ目は、中小企業の省エネルギーのアドバイス事業でした。企業としては省エネによるコスト削減。また、2011年の東日本大震災により原子力発電所の操業停止に伴う電力不足で、特に電気エネルギーの使用を削減する必要がある社会的問題として出てきたことから始まりました。

この他に京都のシンボルである鴨川をきれいにしようと「鴨川クリーンハイク」の活動などを行っております。

このように、最高顧問の働き掛けのお蔭で、充実したもの、そして楽しく活動できるボランティアをご紹介戴き、小生はボランティア活動をさせて戴いております。

我々に活動の受け皿であるKSVUをお作り戴き、そしてその活動事業までお作り戴いたことに、心より御礼申し上げる次第です。

今後もこのようなボランティア活動に積極的に取り組んで行き、少しでも社会に貢献できれば、そしてこの土台を築いて戴いた最高顧問に少しでも立派な活動をご報告できるように頑張りたいと考えております。

最後に、最高顧問のご冥福をお祈りいたします。

堀場OB会と鴨川クリーンハイク参加で思うこと

秋山 重之

1. はじめに

昨年及び一昨年は、堀場製作所OB会（以下堀場OB会という）にとって最も大切な先導者、先輩が亡くなられた。

故堀場雅夫最高顧問は堀場OB会発足と同時に我々に生きがいの指南役として多面的にご指導頂いた。特に総会の講話では人生第二幕は“ひつまぶし人生”ともいわれ、多彩に生きるため、現役時代に培った知識や知恵を生かした社会貢献の大切さを強調された。もう一人は、一昨年11月中ごろ突然の訃報が伝えられた前代表幹事川越幹氏である。現在のOB会組織や運営体制の基礎作りに尽力された。

当時、堀場最高顧問の提案がヒントになって、平成20年2月に「堀場OBベンチャー&ボランティア部会」を発足し、OB会組織の実効性を具体化した。最初のボランティア活動の取り組みが、「鴨川を美しくする会」への参加である。私はその2年後から参加し、“京都鴨川方式”ともいえる河川

清掃美化活動の規模の大きさやその成果の広がりを間近に見て、種々の発見があったのでその感想を伝えたい。

2. ボランティア部会創設と「鴨川を美しくする会」への参加の頃

堀場OB会は、平成20年から「鴨川を美しくする会」（鴨川クリーンハイク、同茶会、同納涼の3主要イベント活動から構成）に加入し、翌年には堀場OB会の団体名で登録した。

【写真1 平成20年鴨川合同クリーンハイク
堀場OB会による初参加（当時2008.10.19）】

写真1は、平成20年のOB会として、初参加となった鴨川合同クリーンハイクである。



「鴨川を美しくする会」（ボランティア団体）は、昭和39年11月（1964年）結成から50年が経過し、堀場OB会からの参加はまだ8年程度で実績も少ない。しかし、個人的には現役時代に環境分析計の製品開発や現地設置を行うなどの経験から、河川の美化清掃活動には深い関心を持つことができた。

3. 鴨川の特徴

鴨川は、上流にあたる賀茂川及び高野川が合流して出町柳を起点に京都市街を縦断して、淀川水系に流入する。過去には治水工事が十分ではなかったころは、台風や大雨による暴れ川であったことは有名で、生活排水や上流からの農業排水、中小事業所排水の流出等により、河川環境は著しく悪化していた時代があった。現在では、観光都市京都の自然景観を代表する市民の憩いの場として、また観光資源として来訪者の印象に深く残る存在でなくてはならない。

現在、鴨川全流域の水質は、近年の水質汚濁対策が進み、良好な水質を維持している。

生活項目に係る環境基準について、鴨川全流域はA類型（ただし高野川上流はAA類型）でいずれも有機汚濁指標BODの環境基準を継続して達成している。

4. 鴨川クリーンハイクに参加して発見したこと

堀場OB会報誌（年2回発行）には、鴨川クリーンハイク報告メモ（感想文と写真）が記載されている。これらの報告メモから、鴨川美化清掃活動による環境保全改善や社会に対する啓発効果～影響が読み取れる。

また、「鴨川を美しくする会」を中心とする多くの協議団体と連携した国（府建設部）の河川環境保全事業が多く進められていることも見逃せない。

堀場OB会参加者による報告メモの要約について

平成20～27年間で、堀場OB会からは、約20名の参加があり、最近の入会者を除くほぼ全員が約10回程度のリピート参加の実績がある。

また、報告メモ（H.20.10.19～H.27.11.2、約25件）は、a.収集ゴミの種類と収集量の推移、b.河川敷～鴨川周辺風景のコメント、c.リピート参加意識とその達成感など3項目に分類できる。

参加者の報告メモを抜粋

休日の早朝からのクリーンハイクに参加して、①良い仕事ができ、②心地よい汗をかいた、③晴天に恵まれ清々しい気持ちになった、④心地よい汗をかきながらボランティア活動の達成感を味わった、⑤ロゴ入りユニフォームは元気姿の堀場

OB会メンバーが目立って良かった、⑥さらに参加者を募りたい等の意欲ある参加意識の高い前向き発言が多い。

(3)収集ゴミの意味するもの

鴨川の岸辺（平坦な川辺）、河川敷さらに遊歩道がクリーンハイクの守備範囲である。

毎回のクリーンハイクのゴミ収集の体験からいろいろなことが分かった。表1は、収集ゴミの採取場所ごとに分類し、その量的変化に言及したコメントをまとめた。

下表から、3分類した収集ゴミのうち、A及びBはクリーンハイクにより大きく成果が出始めている。クリーンハイク参加者の思いが、喫煙者マナーや河川利用者の意識向上につながるものと思われる。Cは、依然として河川水位上昇後の川岸周辺の漂流物は、一向に減少する気配がない。このように、上流由来の汚染物の流下は、水質汚濁についても同様と考えられる。対策として、平成26年11月に始まった鴨川上流域河床の清掃活動は、昨年度も実施されたが、今後さらなる継続が期待される。

表 収集ゴミの分類とその量的変化の推移

収集ゴミの大分類（場所）	内容物内訳	収集量の推移	結果及び対応方法等
A ボイ捨てゴミ（河川敷、遊歩道、側溝、ブロックの隙間）	タバコ吸殻、ガム等 小さな包装紙、銀紙等	数年前から減少の一途、最近では少なくなった	来訪者のモラル向上または清掃美化が進み啓発が行き届いた
B 茂みなど隠れている中型ごみ（茂み、生垣、植木の中）	袋入り空弁当 ドリンク空き缶、段ボール箱	遊歩道周辺の茂みに隠すように捨てられており、回収困難な所もある	茂みや生垣の刈込みで、無断放棄を減少させたい
C 流木など上流由来ゴミ（岸辺、草むら、灌木、浅瀬）	流木、小枝、タイヤ、プラスチック片、ひも類	上流由来物なので減量化は困難である	大物は、事務局へ報告 源流域への清掃範囲拡大中

(4)鴨川府民会議で決まった鴨川ギャラリーの開設過去に通勤電車（JRびわこ線）で、鴨川鉄橋に差し掛かかるところ塩小路橋下のブルーシートハウスをよく見かけた。当時は河川橋下以外でも多発し、景観や安全性で社会問題化し撤去された。その後の整備工事が気がかかりであったが、多くは金網ネット柵が設置されていた。平成25年には、新しい試みとして出町橋を皮切りに鴨川ギャラリーが創設された。橋下に鴨川ギャラリーを開設したという情報は、当初一瞬耳を疑った。その後、歴史文化の古都にちなんで、地域の歴史アートを紹介している。昨年11月には、御池大橋西に5個所目を開設した。いずれも鴨川府民会議で決定されたものである。写真2は、御池大橋に設置した鴨川ギャラリーである。

【写真2 鴨川ギャラリー（御池大橋）】



5. 鴨川美化清掃活動の今後の課題
1) 今後の都市河川の

美化清掃のめざすところ

鴨川の未来について、今後もさらに多くの観光客の訪問が期待されるので、鴨川の水質改善による生物環境の再生、河川環境保全及び景観の美しさ等の総合力で“おもてなし”ができることが最も大切である。写真3は、餌を待つアオサギ（釣り人）で、鴨川ではよく見かけるほほえましい風景である。

2) リピート参加者の増加が輪を広げる原動力になる

堀場OB会メンバーの報告メモにあるように、鴨川の河川敷に来るとなぜか心が洗われ、癒される雰囲気がある。参加者が、清掃活動後の心地よい達成感に気付くことが何よりも大切である。さらにリピート参加者の増加が維持できれば、市民参加や関係者団体への輪がさらに広がっていくように思われる。

3) 鴨川は淀川水系の上流河川域に位置するため、河川環境保全の維持管理の責任は重く、また清掃活動の範囲をより上流側へ広げることは大きい期待がある。

6. 終わりに

堀場OB会からボランティア活動の一環として毎回数名が参加している。

【写真3 餌を待つアオサギ（孤独な釣り人） 写真4は、



平成27年第3回定例クリーンハイクの参加風景⁽⁴⁾である。ここで、参加者一人一人の

美化清掃活動の貢献は、当日参加者350人中の1人に過ぎず、まさに微々たるものである。しかし、実際に現場に足を運び、自らの手でゴミ拾いをしながら、河川敷周辺を清掃することで、全員と協調して成し遂げたという一体感が生まれてくる。

一昨年、「鴨川を美しくする会」は、結成50周年を記念して表彰を受けられ、多方面から祝福された。当OB会から酒井俊英代表幹事もお祝いと感謝のコメント（京都新聞、平成26年11月20日）を送っているが、年々参加者数の増加が示すように“継続は力なり”を学んだ次第である。

堀場OB会メンバーによる鴨川クリーンハイクは、ボランティア活動の一環であるが、堀場最高顧問の提案された“社会貢献実践のすすめ”を一つ一つ体験していくことで、“ひつまぶし”茶漬を自分なりに味わう楽しみがある。以上

<参考資料>

【写真1】第15回鴨川合同クリーンハイク参加、堀場製作所OB会会報No. 25.

【3. 鴨川の特徴】海野興一郎記。-京都の知ってるつもり「鴨川は暴れ川だった」- 堀場製作所OB会会報No. 31.

【3. 鴨川の特徴 鴨川全流域の水質】京都府ホームページ（桂川、鴨川流域の水質について 2015. 12. 20現在）

【写真4】「鴨川を美しくする会」提供、平成27年第3回定例クリーンハイク、HPより

【写真4 平成27年第3回鴨川クリーンハイク】
協力：「鴨川を美しくする会」（2015. 9. 6）



「琵琶湖疏水完成には知事と優秀な技術者が三人いた」

琵琶湖疏水と言え、田邊朔郎が京都府庁に入庁後、ご自身の大学卒業論文を元に、建設したものと思っていたが、そんな単純な話ではなさそうなので、少し詳しく調べてみた。

明治14年1月京都府知事に就任した北垣国道(1836～1916)は、東京遷都で人口が半分近くまで減少し、疲弊し切っていた京都に活力を呼び戻すため、京都振興策を見直し、新たな政策を進めた。それが琵琶湖疏水計画である。京都で工業を発展させるためには、新たな動力源の確保と、輸送力の強化が必須と、琵琶湖疏水を実現させようとしたのである。

北垣は就任後すぐに東京へ行き、参議の伊藤博文や内務卿の松方正義に疏水計画を持ち掛け、伊藤からは京都を発展させるには疏水の他にないとの同意を得て、松方からは当時政府で施工中の安積(あさか)疏水視察を勧められ、出席した同疏水落成式で、工事主任の南一郎平から施工方法等の説明を受ける。その後、三度の起工伺いで、ようやく政府から起工許可が下り、明治18年6月起工式が行われるが、その半年後の12月伊藤は初代内閣総理大臣に、松方は大蔵大臣に就任するのである。北垣は人の将来を見越して、計画を持ち掛けていたのか。それとも偶然か。その後北垣は、人脈を使い、少数精鋭で、意地と執念で、この計画を成し遂げるのである。実はそこに優秀な技術者が三人いたのである。

まず島田道生(1849～1925)である。北垣の熊本県大書記官から高知県令時代の部下で、測量技師である島田は、北垣から呼ばれ京都府庁に入庁。大津/京都間を測量調査し、明治16年2月「從滋賀県近江国琵琶湖至京都通水路目論見実測図」を作成。この測量図の正確さが政府への説得力となったのである。

次に南一郎平(1836～1919)である。南は内務省所属の日本随一の土木技術者で、安積疏水の工事主任。北垣の依頼で現地調査し「琵琶湖水利意見書」を提出。その後、内務省オランダ人技師による政府現地調査の結果、大幅な設計変更となり、内務省で練り直され、工事費も当初の60万円を大幅に上回る125万円に修正。その上で、政府は「許可はするが内務省の練り直した内容で施工の

事」と結論付けた。ここで練り直したのが南である。

最後は田邊朔郎(1861～1944)である。北垣は外国人の力を借りず、日本人による建設の模範となり、同時に経費節減を図ろうと、北海道開拓使時代の同僚で、工部大学校(現:東大工学部)長の大鳥圭介に、優秀な卒業生の推薦を依頼。大鳥も賛同し、紹介したのが卒業論文「琵琶湖疏水工事の計画」執筆中の田邊である。明治16年5月卒業後、京都府庁に入庁。翌年工事主任として、南の派遣依頼を内務省から断られた北垣は、若干23歳の田邊を工事主任に任命。その田邊は、明治21年水車視察のため渡米中に急遽アスピンの水力発電所も視察。電気の時代到来を確信し、何と蹴上に水力発電所を建設するのである。

こうして琵琶湖疏水は起工5年後の明治23年4月竣工する。ところが、明治25年7月北垣は、京都府知事を辞任、北海道長官に就任し、明治27年今度は鉄道を計画する。島田を測量技師として招いた後、既に娘婿となり東京帝国大学教授になっていた田邊を、鉄道部長として招くが、その時田邊は、教授職を辞めて道庁に入庁するのである。それは義父とは言え、北垣が、男も惚れ込む程の開拓者魂旺盛な、魅力ある人物に他ならないからであろう。それにしてもテレビドラマの様な実話である。以上



【夷川発電所脇にある北垣国道の銅像】

平成27年8月28日、横浜発着で9泊10日の船旅に
出ました。ダイヤモンド・プリンセス(11万6千ト
ン)で青森、秋田、ウラジオストク、函館に寄港
し、横浜に帰ってきます。

この船はイギリス船籍なので、国内発着の場合、
必ず外国に寄港しなければならないので、ウラジ
オストクに行きました。その他のコースでは、台
湾、釜山、コルサコフなどに行きます。



【ウラジオストク港に碇泊するダイヤモンド・
プリンセス】

船旅と言えば船酔いを心配しますが、ランド
マークタワーを倒したほどの大きさで、横揺れ防
止装置が付いているので大丈夫と、家内に言っ
ていたのですが、青森までは、縦揺れが大きく、
プールの水がバシャンバシャンと波打っていま
した。船医に船酔いの薬をもらいに行く人が多
く居たと言うことです。翌日の船内新聞に、台
風16号の余波で縦揺れが大きかったが、縦揺
れ防止装置は付いていないからと書いてあり
ました。もう一つ考えられることは、福島沖
では60Km以上陸から離れたところを走っ
ていたのだから、うねりが大きかったからと思
います。ハンディカーナビを持って行ったの
で、どこを時速何Kmで走っているのが判り
ました。

船内の食事ですが、朝6時から夜11時までど
こかで何かを食べることができます。和定食、
洋定食、ビュッフェスタイルの朝食、11時
から始まるプールサイドにあるピザ、ハンバ
ーグ、アイスクリームスタンドが夜11時
までやっています。アフターヌーンティ
があるのはイギリスの船だからでしょう。
夜は、6人が同じレストランの同じテー
ブルでフルコースを頂きます。有料でス
テーキ、寿司、イタリアンなどありますが、
あまり利用してなかったようです。夕食時
間以降にドレスコードがありフォーマル
の日が2回ありました。堀場の忘年会のた
めに作ったタキシードのズボンが、少し窮
屈になっていたのだから、2カ月かけて
4Kg減量しました。毎日フルコースなの
で、体重

が戻らないように、酒をやめました。毎日ジ
ムで汗をかいた後体重を量っていました。そ
の他、プロムナードデッキを歩きました。1
周650mで、10周を50分で歩きました。函
館から横浜に帰るときには、58分かかり
ました。船速を測ると40km/hでした。普
通は20km/hで走っていますので、向かい
風の影響で納得しました。

入出港するときには、水先案内人(パイ
ロット)が操船するようです。入港は朝早く
なので、パイロットが乗り込むのを見られ
なかったのですが、出港時にはどのように
帰って行くのか、多くのマニアっぽいのが
見えていました。本船に接舷して併走す
るタグボートに乗り移り帰って行きます。
横浜に着岸後どうするのか見えていま
しが、岸壁に乗降口から歩いて降りて、岸
壁に着岸したタグボートに乗り移り、さ
らにタグボートに接舷した「PILOT」と
側舷に書いた高速艇に乗り移り帰って行
きました。

船旅の最大の魅力は、荷物のハンドリン
グが無いことです。出港5日前に家にス
ーツケースを取りに来てくれます。乗船
すると客室に置いてあり、クローゼット
に必要な物すべてを開けます。帰りは
下船前夜に廊下に出しておく、税関の
すぐ近くに並べてあるので、荷物を持
って税関を通り、20mほど過ぎたところ
にある佐川のブースに預けます。指定
日に家に送られてきます。今回荷物
に触ったのは横浜港で20mのみでした。

28年度は5月30日神戸発着11泊12
日で北海道、樺太のクルーズ、青森の
旅を申し込みました。はまってしま
ったようです。以上



【船長主催のウエルカムパーティで、船長と】

【環境知識を生かして地域で貢献している事例を紹介させていただきます】

「ソーラーシェアリング（ハイブリッドな農業）の普及活動」

◇趣旨と事業推進形態

私は、現所在地元白井市で行政施策の支援として、堀場製作所、日本環境技術協会での経験を生かした環境保全活動を行政や民間団体と協働で推進しています。

活動内容は総合計画審議会や環境審議会などの委員、市民や子どもたちに環境学習会などを行っています。その活動の一つである「再生可能エネルギー」の普及活動として太陽光を発電と農業の振興に活用するハイブリッド農業「ソーラーシェアリング発電所」を平成27年6月に農家・行政と協働で完成することが出来ました。

世界最大の課題である地球温暖化対策について2015年11月30日～12月12日にパリにてCOP21が開催され、成果として2020年から京都議定書に代わり実施される「パリ協定」が採択されました。この協定でもエネルギー源として「再生可能エネルギーの普及の重要性」がうたわれました。

このソーラーシェアリング発電所設置は、地球温暖化対策とともに地元の街おこしにも繋がる事業であり、これから全国に広がるものとして期待されていますので、その内容を報告させていただきます。

なお今回のソーラーシェアリングの建設完成にあたっては、農業事業者（施行者）、専門家（施工者）、行政（白井市）、民間団体（企画者）がプロジェクトチームを結成し推進しましたが、私の担当

は、民間活動団体の責任者として、導入の企画コーディネーターを行いました。

◇ソーラーシェアリングとは（Sola SharIng）

ソーラーシェアリング（太陽光発電所）は、営農地の上部約3.5mに支柱を立て、太陽光発電パネルを空間の約30%に設置し、太陽光を「農作と発電」の両方に利用する手法として命名された言葉です。

ソーラーシェアリングは、CHO技術研究所 長島彬氏（神奈川県）により考案され、2003年から実験農場にて太陽光エネルギー強度と作物の育成（作物の光飽和度と収穫量…多くの作物は降り注ぐ光量の約50～80%で育つ）について試験を行い、発電パネルを設置した場合としない場合で多くの作物について育成に差がないことを確認された。

◇日本のエネルギー施策と農業の課題

日本のエネルギー創出施策は、安全性、地球温暖化防止、経済性を必要条件として、化石燃料、再生可能エネルギー（再エネ）、省エネルギー（省エネ）を主体に「ベストミックス方式」で推進している。その中で再エネの拡大が注目されている。

一方農業施策面では、農作業労力に対する収入の伸び悩みで農業従事者不足および耕作地、緑地の減少が喫緊の課題である。

再エネの固定価格買取制度

経産省は再エネの普及施策として、2012年7月に「固定価格買取制度（FIT）を導入し、再エネにより発電された電力を一定期間一定価格で電力会社が買い取る仕組みを導入した。



ソーラーシェアリングを含む太陽光発電の場合は、発電設備の出力10kW以上の場合は全量売電となり買い取り額は、2015年7月1日以降は20年間27円/kW。10kW未満の場合は余剰売電となり買い取り額は、2015年4月1日以降は10年間29～35円/kWです、これにより再エネ発電市場を大きく活性化、特に太陽光発電の導入量は急増し、その内ソーラーシェアリングは、国内では約200ヶ所で設置又は設置検討されている。

◇農地転用許可の緩和策

近年、支柱を立てて営農を継続するタイプの太陽光発電設備等が、新たに技術開発されて実用段階となっていることにより、農水省は従来認可してなかった営農地での他用との共用について、2013年4月に「支柱を立てて営農を継続する発電出力能力50kW以下の太陽光発電を設置（ソーラーシェアリング）することの農地転用許可制度上の取扱いについて」は、下部の農地で農業生産が継続されるよう確保する必要がある、また周辺の営農に影響を与えないことが重要であるとの認識のもと、以下の条件で農地転用許可のガイドラインを公表した（24農振第2657号）。

- 1) 支柱の基礎部分について一時転用許可の対象とする、一時転用許可の期間は3年間（問題がない場合は再度許可可能）とする。
- 2) 一時転用許可に当たり、周辺の営農上、支障がないか等チェックする。
- 3) 一時転用の許可条件として、年に1回の報告を義務付け、農産物の生産等に支障が生じていないかをチェックする。

◇白井再生可能エネルギー協議会の取組み

白井再生可能エネルギー協議会（会長 横山 久雅子、専務理事・事務局長 辻川 毅）は、地球温暖化防止に係る再エネ、省エネの普及促進のために、白井市地区の市民、市民活動団体、事業者等が連携協働で2012年9月に設立（会員数は約40）された、活動成果として、平成2015年6月19日に白井市初のソーラーシェアリング営農発電所（ソーラーシェアリングしろい富塚）を事業者（施主 川上利一）、行政（白井市）、民間団体（白井再生可能エネルギー協議会）の協働事業として完成させた、今後3者協力して様々なデータを収集・分析し、ソーラーシェアリング普及の可能性について調査研究していくことになった。

ソーラーシェアリングしろい富塚の概要紹介

（ブログ <http://blog.canpan.info/shiroisaiene/>）

設置者 川上 利一様
（企画 白井再生可能エネルギー協議会）

千葉県農業委員会許可
千葉県印農指令第2023号の90

建設費 約2000万円
（融資 日本政策金融公庫）

設置面積 1,019㎡

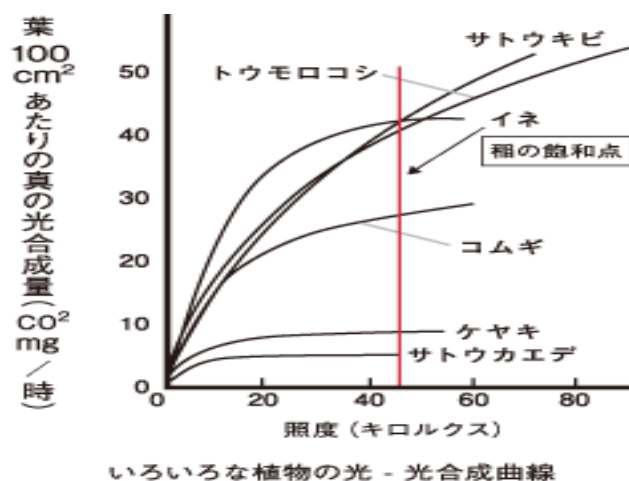
出力 49.5kW（パネル100W×504枚）

年間発電量 50,000kWh
（モニタリングシステム…エコめがね）

運転開始 平成27年6月19日

◇ソーラーシェアリングしろい富塚設置状況

光飽和点とは…光量と収穫量（資料提供長島様）
農作物にとって、一定の量以上の太陽光は光合成に利用されず（光飽和点）、強い光は作物によってはかえってストレスとなる場合もある、設置されたソーラーパネルによる遮光率は30%程度で、作物生育には支障はない。植物は一定量の光があれば育つ、成長にはそれを超える太陽光は不要（光飽和点の応用）。



植物は、水分がなければ死に直結する場合もある。ほとんどの生物は太陽光が過剰な場合の対処として、水分を蒸発して体温を下げています。各作物で一定の光以上は光合成の増大にはほとんど貢献できていないことを示している。以上

OB会だより

－ 堀場OB会ホームページ紹介 －

堀場OB会のホームページは総会、幹事会、キャリア活動、クラブ活動をはじめ各種の行事案内、活動報告を掲載しています。より魅力あるホームページにするために会員からのご意見、ご提案をお寄せ下さい。

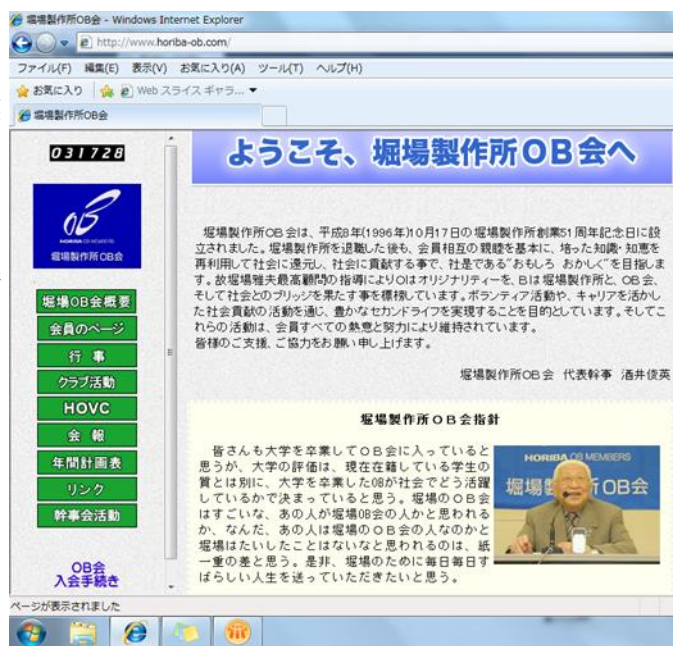
検索エンジンから「堀場OB」で検索し、「お気に入り」に追加ください。

◆ホームページアドレス

<http://horiba-ob.com>

◆堀場OB会メールアドレス

horiba.ob@gmail.com



－ 新入会員紹介 －

新入会された会員を紹介します。（敬称略）

- 第19期 衣斐 寛之、佐々木 一訓、吉良 昭道、田嶋 寛
調子 均、北川 光夫、大川 浩美、高田 守
第20期 鷗崎 一誠（敬称略）

－ 古希になられた方々（敬称略・会員番号順） －

- 森本 順孝、細川 好則、柳田 祥男、大浦 俊彦、杉本 実
倉原 政治、龍 重法、藤田 勲、川戸 健一、八木 大三、土肥 守

－ 訃 報 －

望月宣治様、南村義昭様、西田敏彦様のご逝去されました。
謹んでお悔やみ申し上げます。

－ 年間行事計画について－

年間OB会行事についてはホームページに「年間行事予定表」を公開していますが、会員の皆様に参加いただく行事を紹介します。

- ◎ 鴨川を美しくする会
 - ・ 鴨川クリーンハイク（年間5～6回の予定）
 - ・ 鴨川茶店（4月予定）
 - ・ 鴨川納涼（8月予定）
- ◎ 工房学習支援（年間：7～8回の予定）
- ◎ 一泊（日帰り）旅行（2月19日～20日）
- ◎ 春の懇親会（4月予定）

- ◎ 夏の懇親会（8月予定）

- ◎ レジャー例会（4月、6月、11月の予定）

開催日が決定した行事についてはホームページまたはメールにて紹介させていただきますので参加いただくようお願い致します。行事内容の詳細は、代表幹事・幹事にお問合せ下さい。

◆代表幹事 酒井 俊英

E-Mail : sakai727@yahoo.co.jp

TEL 090-5965-0389

－ 会報・ホームページへの寄稿要領について －

会報への寄稿文、ホームページへのクラブ動、ボランティア活動等の諸活動報告をされる場合に長文では取扱いに苦慮する場合があります。

このため、文字数の上限を下記の通り取決めさせていただきますので協力いただくよう宜しくお願い致します。

◆会報へ寄稿文

1500文字以内

(写真を1枚～2枚添付して下さい)

◆ホームページへの活動報告

800文字以内

(写真を1枚～2枚添付して下さい)

会報、ホームページ共に文字だけでは読者に伝える力が弱く、写真によって情景を読者に印象付けるものであり、必ず写真を添付いただくようお願い致します。

活動報告は行事終了後、直ちに報告いただくようお願いいたします。

◆寄稿文の募集

会報に掲載する寄稿文を募集しています。

■OB会入会手続きの手順

①「入会登録書」「入会のお誘い」をダウンロードする。

②「入会登録書」に必要事項を記入し、メール添付または郵送にてOB会幹事に提出する。

③幹事会審査の後、入会金、年会費納入の振込用紙、OB会資料を入会希望者宛に送付する。

④入会希望者は振込用紙にて郵便局より振込。
(手続き完了)

【OB会員の皆様へ】

皆様の周辺で、未加入の退職者がおられましたら、入会の勧誘をぜひお願いします。
堀場OBホームページトップページの「OB会入

テーマは特に決めていません。

＜旅行の感想＞、＜地域での活動＞、＜地域の名所・旧跡の紹介＞、＜地域の祭り＞など身近なテーマを気軽に寄稿いただきますようお願い致します。

投稿者にはささやかながら「図書カード」

(1,000円分)を進呈させていただきます。

会報は毎年1月と7月に発行しますので12月末、6月末を目途に提出いただくようお願いいたします。

◆著作権について

・書籍から引用の時は出典を明記して下さい。
(発行元、書籍名、著者)

・新聞からの文面、写真の引用は新聞社の承認を必ず得て下さい。

◆送付先

会報事務局編集責任者 伊藤 哲

メールアドレス horiba.ob@gmail.com

〒601-8510京都市南区吉祥院宮の東町2

堀場製作所OB会 会報事務局宛

会手続き」のアイコンから入会申込書をダウンロードし、「入会のお誘い」に記載されている手順で手続きを行うよう積極的に案内をお願い致します。解らない場合には、代表幹事・幹事にお問い合わせ下さい。

代表幹事 酒井 俊英

副代表幹事 船越 健

幹事

森山 晶成

中村 正博

中村 十規人

小川 柗幸

東京支部幹事 谷口 義晴

会計幹事 伊藤 哲

会計監査 湯浅 一郎

下半期会社ニュースピックアップ

1. 自動車計測機器事業のさらなる飛躍へ「英国のMIRA社の事業を買収」

2015年7月14日、HORIBAは英国に拠点を置く、MIRA Ltd.(マイラ社)の事業を買収し、ホリバMIRA社として事業を開始しました。今後、自動車のみならず、あらゆる移動体(モビリティ)の計測・研究・開発事業へと展開されます。主な事業内容は無人走行や自動運転などの「車両開発エンジニアリング」や自動車を販売するうえで必要とされる試験を受託する「試験エンジニアリング」などで大きなシナジー効果が期待されています。



2. 2015年10月3日、「マニュエル・ヴァルス フランス首相一行が訪問」されました。

堀場社長とのご歓談後、一行は自動車計測ラボや分析アプリケーションセンターを見学され、ホリバ・ジョバンイボン社製やホリバABX社製の製品を紹介するなどフランスとの関係性の強さをご理解していただいたようです。事業環境のほか、ホリバアリアンとして働く職場環境やフィロソフィについても興味をもたれたご様子です。

3. 日刊工業新聞社主催の「フレッシュアズ産業論文コンクール」にて、HOR エナジーシステム計測開発部 新入社員 栗山 怜子さんの論文が「第1席 経済産業大臣賞」を受賞しました。

今回栗山さんは、参加社数60社、作品数586編のなかから見事、最高賞である第一席を受賞されました。栗山さんの論文は、ワークライフバランスについて定義を再確認し、実現するための土台作りとして「三つのC(経営者のキャッチフレーズ、管理職のコミュニケーション、社員のコミットメント)」を提案する論文です。



編集後記

今年は、リオデジャネイロ オリンピックの年。堀場製作所からはアーチェリーの林勇気選手が代表入りしています。こちらからも応援したいと思います。今回の会報は昨年逝去された堀場雅夫最高顧問の「ひつまぶし人生を楽しむ」の言葉どおりの報告を掲載しています。今後もさらにシニアライフに役立つ情報を提供していきたいと考えています。

今年の大きな関心事にアメリカ大統領選の行方があります。初めての女性大統領が誕生するのかが気になるところです。年明けになって株式市場は下げ続けています。世界経済がどう推移していくのかも気になります。

これからさらに、寒さに向かいます。お体ご自愛ください。また、会報に関する感想やシニアライフの情報もお寄せください。(編集者代表)

* 堀場製作所OB会 *
* 〒601-8510 *
* 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 *
* 株式会社 堀場製作所内 OB会室 *
* URL <http://horiba-ob.com> *
